

主要な機器の使用方法（図解）

どんなときにどう使う？-①

1 パソコン画面を投影し、音声も出したい	
用途	<ul style="list-style-type: none"> ■ パワーポイント等のパソコン画面を映す。 ■ パソコンからDVD等を再生する。
接続図	<p>全体の略図</p> <p>電源コード</p> <p>スクリーン</p> <p>ディスプレイケーブル (音声ありの場合は、HDMIケーブルを使用するか、)</p> <p>パソコン</p>
	<p>配線の略図</p> <p>音声ケーブルの端子+接続コード</p> <p>ディスプレイケーブルの端子</p> <p>HDMIケーブルも可</p> <p>※同じ番号(受け口⇔各ケーブル)を接続します</p> <p>※パソコンによって各接続部位の</p>
使用する機器	説明
1 プロジェクター	パソコン画面をスクリーンに映すための機械 【付属品】ディスプレイケーブル、音声ケーブル
2 ディスプレイケーブル	パソコンとプロジェクターをつなぐケーブル。(RGBケーブル) パソコンとプロジェクターとの距離が3m以上の場合に必要。 (およそ3m未満の至近距離でパソコンを操作できる場合は、プロジェクターに備付のコードで足りる。)
3 接続コード	音声ケーブルだけでは接続ができない場合に必要。ステレオミニジャックに合うよう変換(中継)する。
4 電源コード(延長コード) (5m、10m、30m)	付属品の電源コードがコンセントに届かない場合に必要。
5 スクリーン	会場に備え付けのスクリーンがない場合に必要。
6 パソコン (貸出不可)	視聴覚センターではパソコンの貸出は行っていません。